

決算特集号

令和2年度決算が市議会第3回定例会
で認定されました。

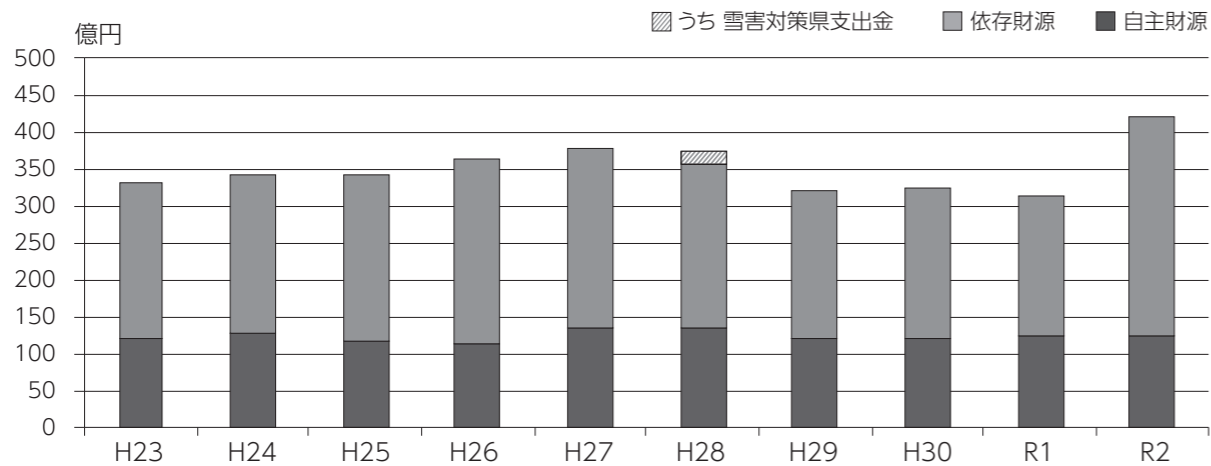
一般会計の決算を中心に、
笛吹市の決算の概要を紹介します。

CONTENTS(内容)

決算の概要	2~5
市の基金と市債(借入金)	6
財政健全化判断比率等	7
令和2年度の主な事業	8

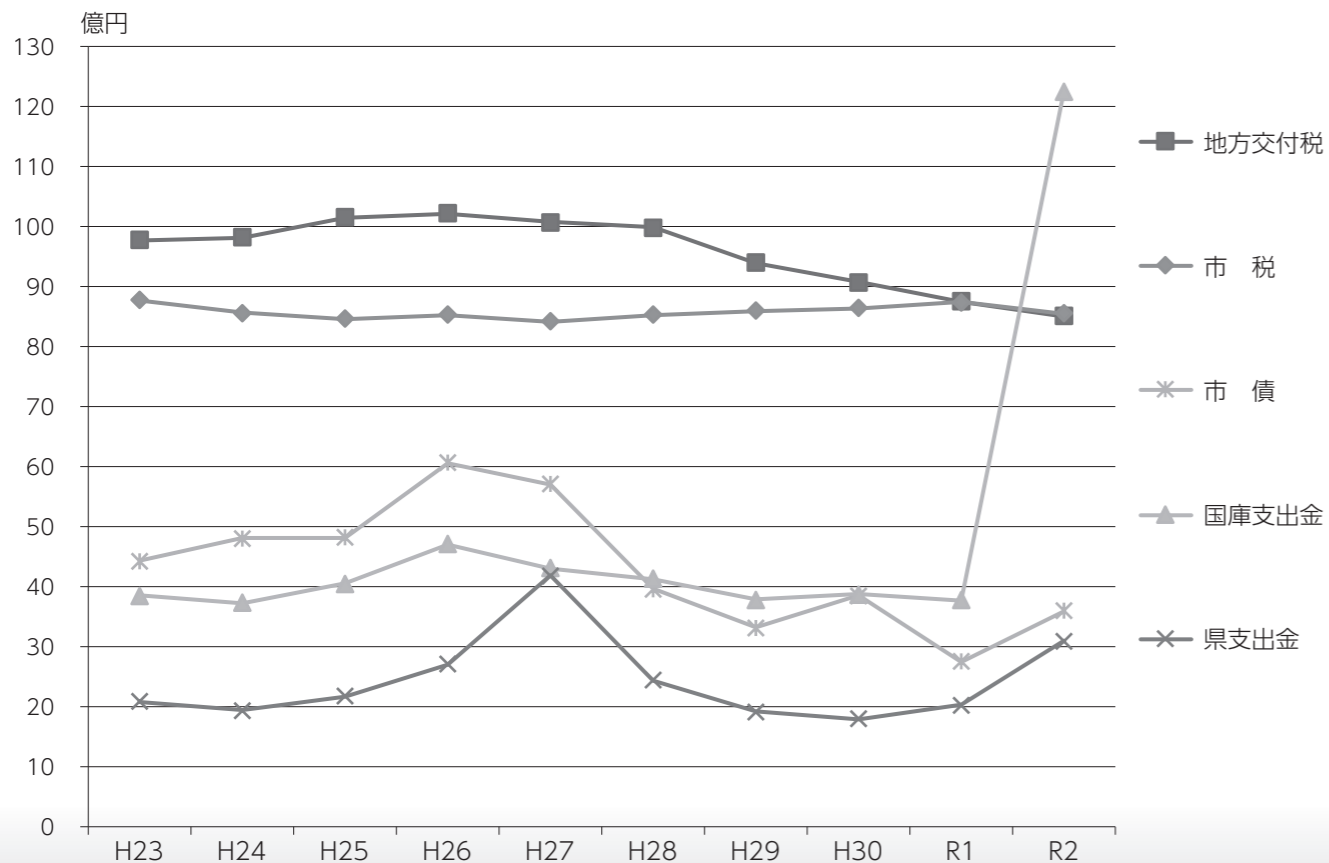
一般会計 自主財源・依存財源の推移

自主財源は、ふるさと納税寄附金の増加に伴い、前年度から10億1,300万円増加しました。依存財源は、国庫支出金等の増加により、昨年度から103億1,500万円の増額となりました。



一般会計 主な歳入科目決算額の推移

自主財源の根幹である市税については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う特例措置による徴収猶予等の影響もあり、前年度から減少しました。国庫支出金については、新型コロナウイルス感染症への対策費用に対する補助金等により、前年度から大きく増加しました。

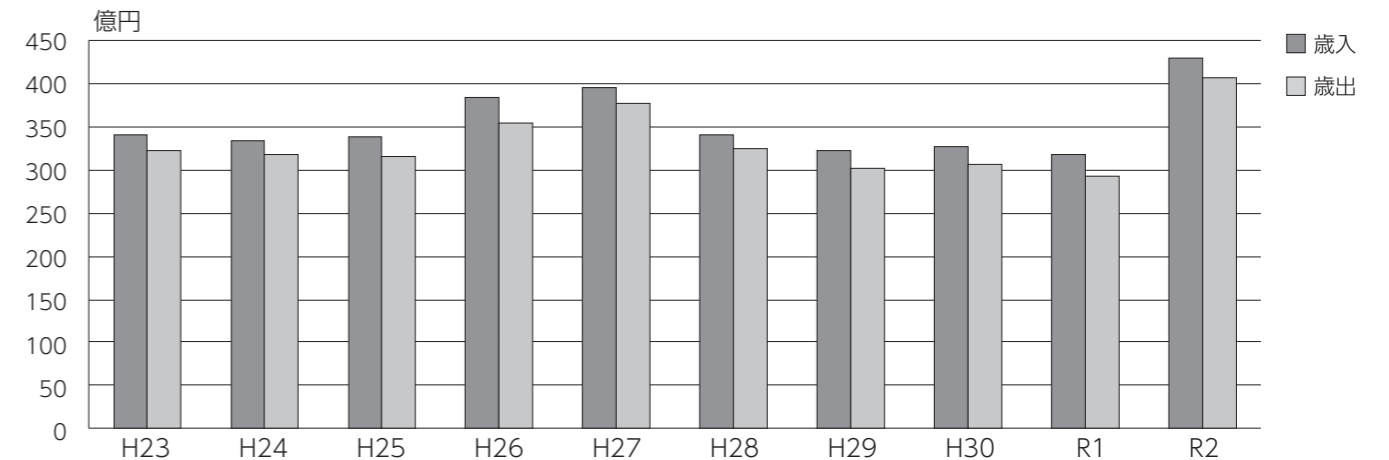


令和2年度 決算概要

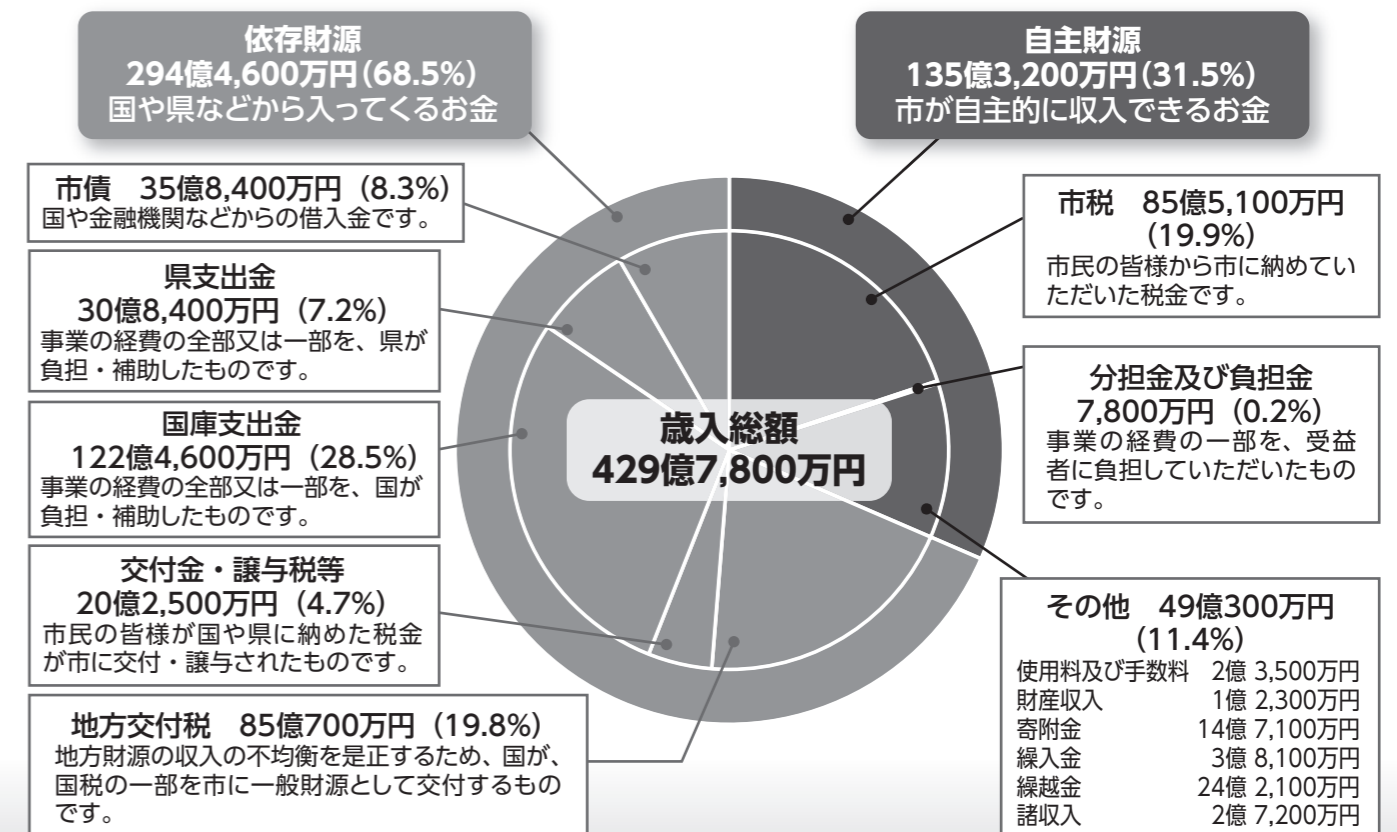
令和2年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆様になめていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

一般会計 歳入・歳出の決算規模

令和2年度一般会計決算は、歳入総額が429億7,800万円、歳出総額が405億8,400万円でした。昨年度と比較すると、歳入は113億2,800万円増、歳出は113億5,500万円増となりました。

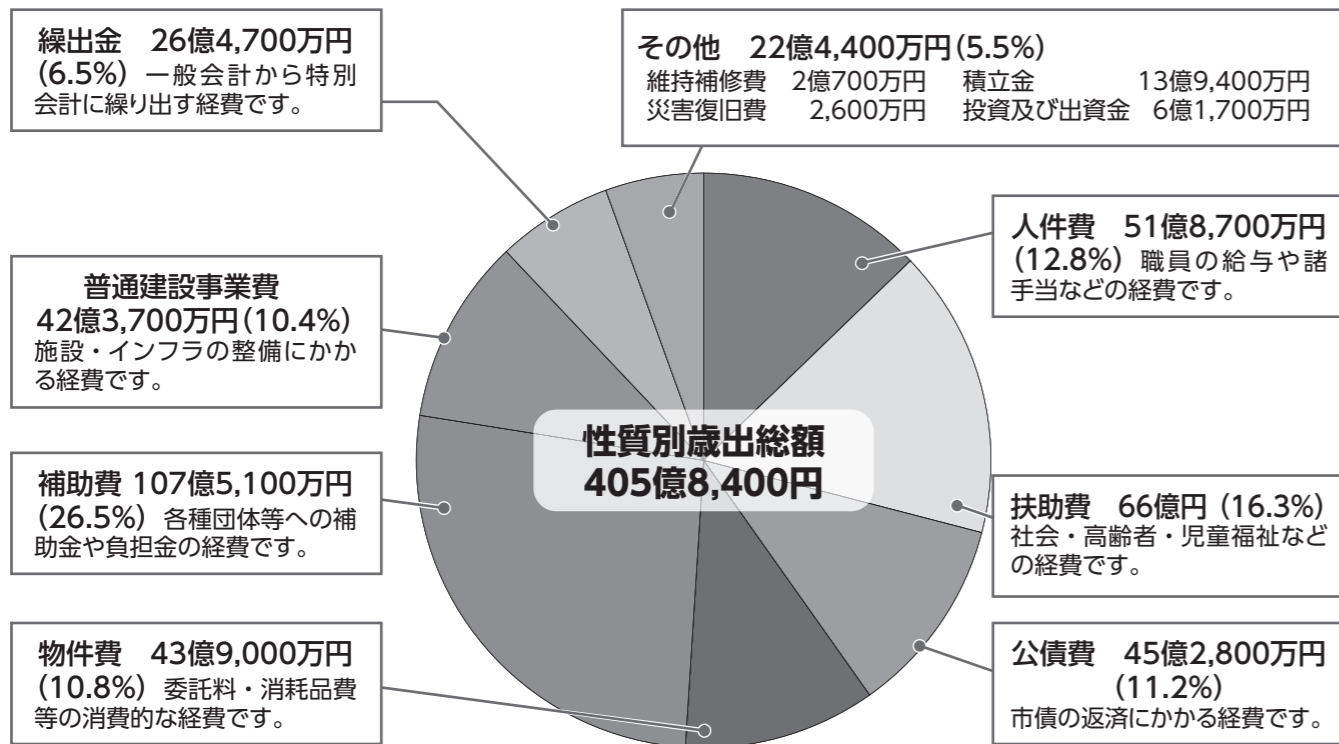


一般会計 歳入の内容



一般会計 歳出の内容(性質別)

歳出を性質別にみると、補助費が最も大きな割合となっており、新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金事業等により、73億5,000万円の増額となりました。次に大きな割合である扶助費には、制度により支出が義務付けられている社会保障の経費が多く含まれています。



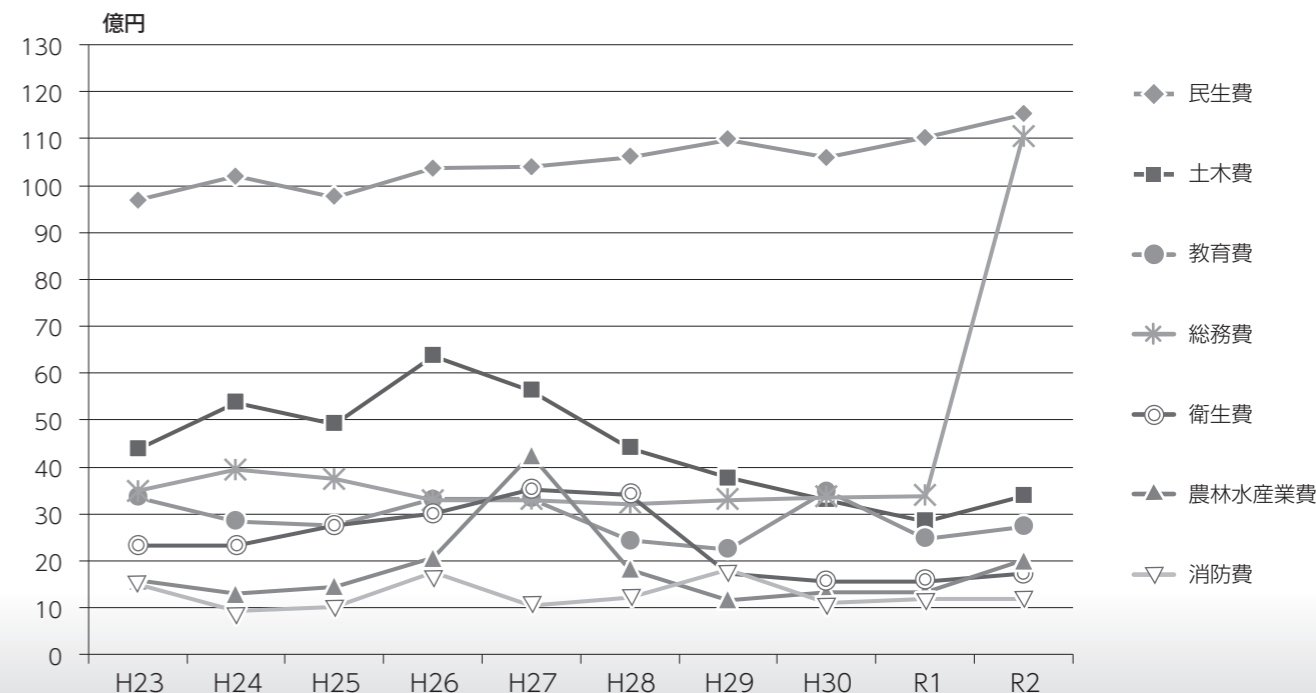
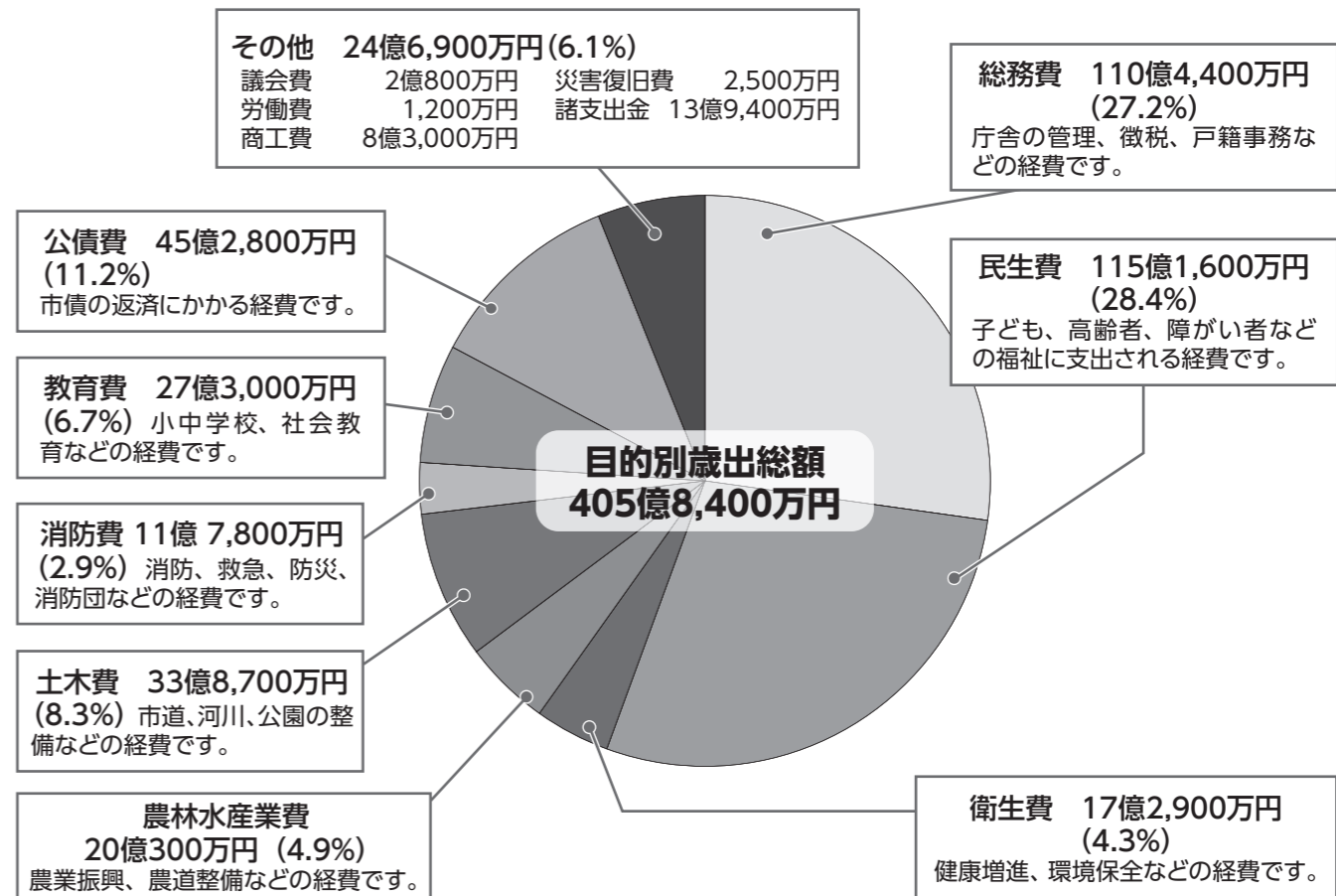
特別会計・企業会計の決算状況

特別会計名	歳入総額	歳出総額	企業会計名	区分	決算額
国民健康保険特別会計	82億2,573万円	77億8,507万円	水道事業会計	収益的	収入 17億 5,324万円 支出 16億 6,467万円
介護保険特別会計	73億6,169万円	69億2,334万円		資本的	収入 5億 9,919万円 支出 10億 4,343万円
介護サービス特別会計	1,189万円	885万円	春日居地区温泉給湯事業会計	収益的	収入 6,491万円 支出 5,112万円
後期高齢者医療特別会計	15億4,919万円	15億3,530万円		資本的	収入 0万円 支出 308万円
農業集落排水特別会計	6,656万円	4,296万円	公共下水道事業会計	収益的	収入 19億 6,757万円 支出 18億 5,975万円
笛吹市境川観光交流センター特別会計	1億4,918万円	1億2,496万円		資本的	収入 9億 2,513万円 支出 15億 8,104万円
森林経営管理特別会計	1,523万円	1,033万円	簡易水道事業会計	収益的	収入 2,657万円 支出 2,092万円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計合計)	7,286万円	598万円		資本的	収入 460万円 支出 462万円
合計	174億5,233万円	164億3,680万円			

収益的及び資本的収入が支出に不足する額は、補てん財源等で措置しました。
 ※(1)…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費等の会計
 ※(2)…資本を形成するための工事や大型備品等の更新のための会計

一般会計 歳出の内容(目的別)

歳出を目的別にみると、最も大きな割合となったのは民生費で、昨年度より5億円の増額となりました。また、次に割合が高かった総務費は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金事業等により、76億6,400万円の増額となりました。



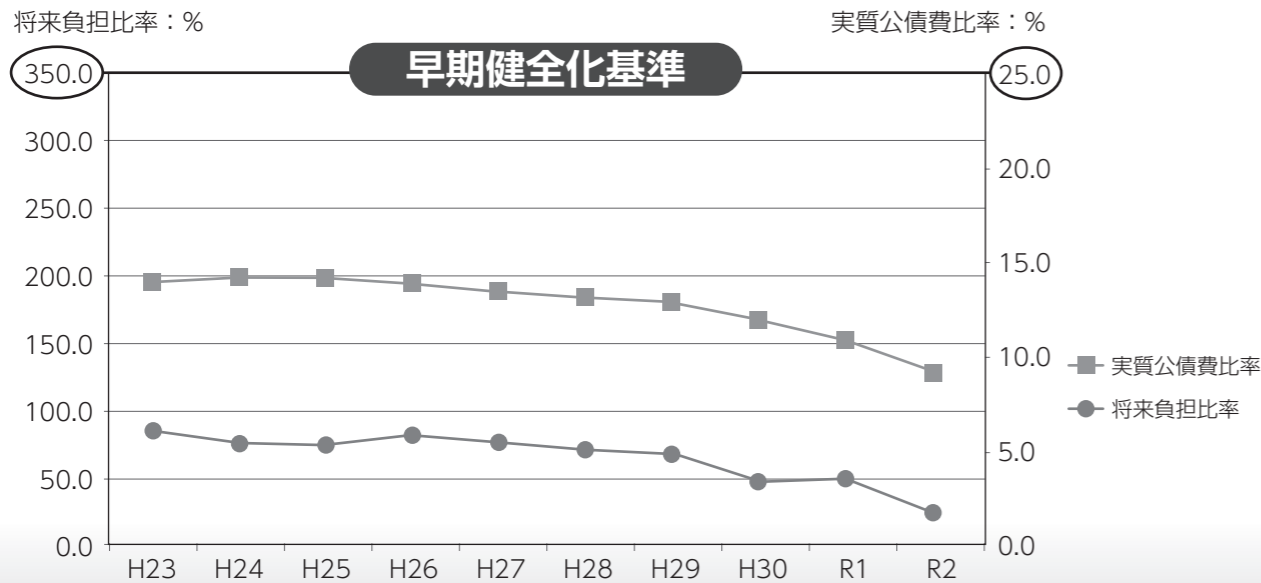
財政の健全度を判断する指標を公表します。

財政健全化判断比率とは、財政健全化法により算定・公表が義務付けられている、市町村の財政が健全かどうかを判断する指標です。主な指標としては、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標があります。

指標	算定結果 ()内は前年度数値	早期健全化基準	比率の説明
①実質赤字比率	— (—)	12.53%	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
②連結実質赤字比率	— (—)	17.53%	一般会計、特別会計及び公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
③実質公債費比率	9.1% (10.8%)	25.0%	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。
④将来負担比率	24.9% (48.0%)	350.0%	将来負担すべき額から基金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。

指標の推移

実質公債費比率と将来負担比率の推移をグラフで表しました。令和2年度は両指標とも、前年度より減少し、特に将来負担比率については、将来負担額の減少及び基金残高の増額等により大きく減少しました。各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が維持されていることが判断できます。



一般会計 基金現在高の状況

基金名	令和元年度末	令和2年度末	増減額
財政調整基金	37億 2,556万円	37億 2,870万円	314万円
特定目的基金			
減債基金	17億 9,210万円	17億 9,281万円	71万円
公共施設整備等基金	40億 4,627万円	39億 3,069万円	△1億 1,558万円
地域振興基金	49億 905万円	49億 2,189万円	1,284万円
まちづくり基金	5億 447万円	16億 5,697万円	11億 5,250万円
その他	21億 3,635万円	21億 7,033万円	3,398万円
基金現在高	171億 1,380万円	182億 139万円	10億 8,759万円

基金とは、家計で言うと預貯金のことです。財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するとともに、予期しない収入の減少や支出の増加に備えるための基金です。それ以外の基金は、特定の目的のために資金を積み立て、必要に応じて取り崩しを行う基金です。令和2年度は、積立額と取崩額の差により、10億8,759万円の増額となりました。

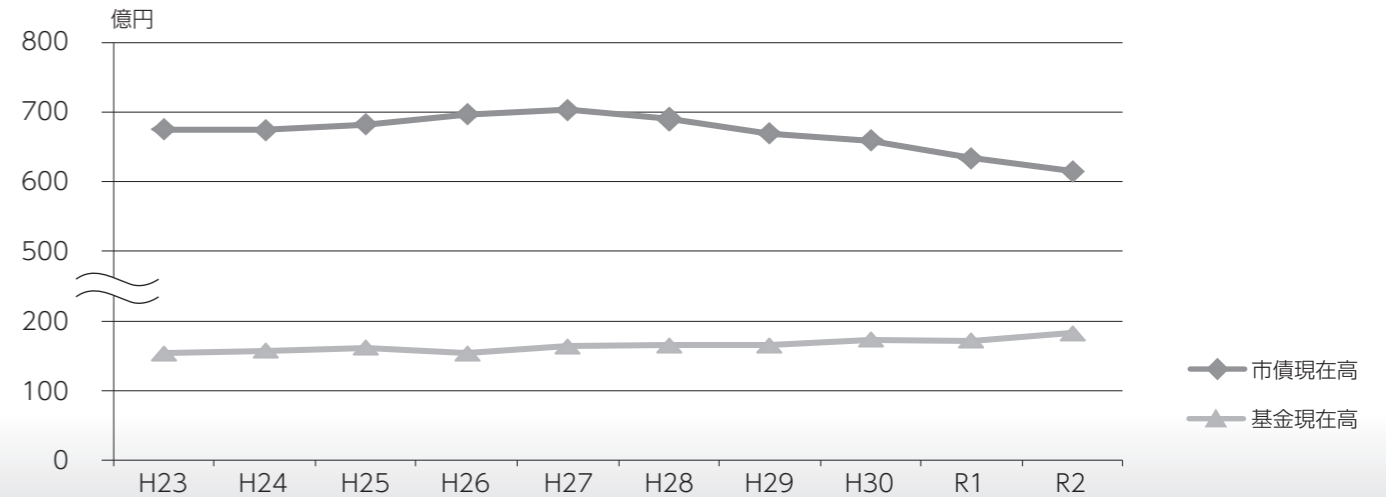
市全体 市債(借入金)現在高の状況

会計名	令和元年度末	令和2年度末	増減額
一般会計	411億 6,847万円	404億 2,261万円	△7億 4,586万円
うち合併特例債	200億 9,516万円	192億 925万円	△8億 8,591万円
うち臨時財政対策債	153億 4,541万円	148億 6,639万円	△4億 7,902万円
公営企業会計	221億 6,376万円	210億 5,484万円	△11億 892万円
上水道・簡易水道	80億 2,667万円	78億 4,620万円	△1億 8,047万円
下水道	139億 2,266万円	130億 1,910万円	△9億 356万円
農業集落排水	2億 1,443万円	1億 8,954万円	△ 2,489万円
市債現在高合計	633億 3,223万円	614億 7,745万円	△18億 5,478万円
臨時財政対策債を除く市債現在高合計	479億 8,682万円	466億 1,106万円	△13億 7,576万円

市債には、長く利用する施設の建設に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の返済を通じて将来その施設を利用する人にも、建設の費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。令和2年度の現在高は、18億5,478万円の減額となりました。

基金と市債(借入金)現在高の推移

基金現在高は、まちづくり基金への積立額が増加しているため、増加傾向となっています。市債現在高は、借入額が減少しているため、減少傾向となっています。



令和2年度実施事業

令和2年度にも多くの事業を実施しました。主な事業の内容について、一部を写真で紹介します。



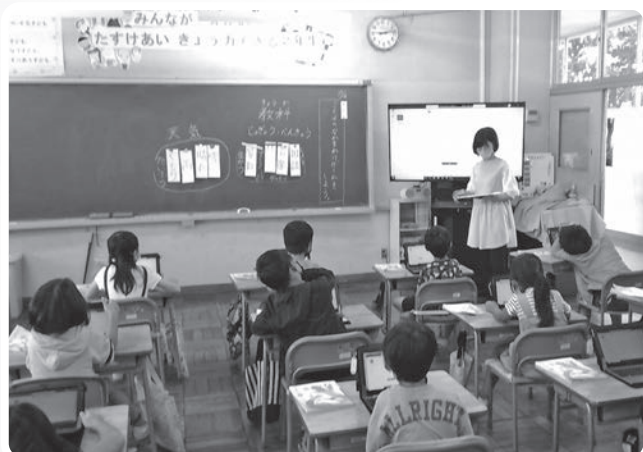
保育所施設整備管理事業

不審者の保育施設敷地内への侵入予防等、犯罪に対する抑止力を向上させ、子どもたちに安心・安全な保育環境を提供するため、公立保育所への防犯カメラ設置及び私立保育所等への防犯カメラ設置のための補助を行いました。



新道峠展望台整備事業

芦川町の新道峠に、富士山の絶景を楽しめる展望台を整備するとともに、展望台につながる道路の整備を行い、市の新たな観光拠点を創出しました。令和3年7月から供用開始しています。



小中学校 ICT 関連機器等導入事業

ICTを活用した授業の充実を図るため、市内小中学校19校を対象に、大型提示装置やタブレットパソコン、デジタル教材の整備を行いました。

視覚に訴える教育効果など、学力定着に役立てていきます。



Net119緊急通報システム整備事業

聴覚や発語に障がいのある方でも、GPS機能を有する携帯電話、スマートフォン等のインターネットを利用して、簡単な操作で119番通報が行えるシステムを整備しました。令和2年11月から供用開始しています。

■問合せ先 財政課 ☎ 055(262)4111

●発行／2021年11月1日 山梨県笛吹市役所

●編集／企画課・広聴広報担当

●所在地／〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地

☎055(262)4111

●URL <https://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>